

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 692

事業名	市単独土地改良補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	農業振興部	農地整備課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 43 - 5026			項	農業費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	農地費・7目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり		
	まちづくりの目標		ふやさんが 食づくりの担い手【農漁業】		
	施策目標		食づくりの源である豊穡の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる		
該当する事業について「 」を選択			施策的事业	業務委託	負担金補助

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 自治会、農業団体等を対象に受益戸数2戸以上において、農地及び農業用施設改良整備のための土地改良事業整備が必要な団体。(受益者数2戸以上)		対象人数(人) 7,919
	意図	(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 農地及び農業用施設改良整備により、当該施設の維持管理の節減ならびに農業生産性の向上と農業収益の増大。		
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 南あわじ市単独土地改良事業補助金等交付要綱に順ずる。補助金等の交付申請を行なう。審査により交付決定を行なうことにより事業の着手となる。事業においては、用水路改修工事、排水路改修工事、ため池改修工事、揚水機新設等工事、自動転倒堰新設及び修理工事、道路法面整備工事、排水路法面工事、客土工事があり、工事費においては、100万円以上500万以下が条件である。		
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 自治会、農業団体から、農地、農業用施設改良整備要望があり、国、県の基準に満たないが農業経営上必要な事業であるとの判断により又、公共性を考慮し、補助金等交付要綱を定めた。		
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (自治会、土地改良区、水利組合等)	
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度	~	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧緑、三原、南淡において町単独補助金の制度があり、合併協議会において、4町の調整の末に現在の要綱が出来上がった。			

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	補助実績				指標単位 千円
	指標説明 (指標算出方法等)	補助実績				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	25,000	25,000	25,000	22,000	
	実績値	24,912	25,000			
達成度 (%)	99.6	100.0	-	-		
目標値設定の考え方	予算の執行状況を考える。					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	農業団体要望に対する改善数				指標単位 件
	指標説明 (指標算出方法等)	事業実施数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	50	40	40	40	
	実績値	28	26			
達成度 (%)	56.0	65.0	-	-		
目標値設定の考え方	年度における補助金申請者の整備満足度を100%と考える。					
資源配分 (インプット)			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)		24,912	25,000	25,000	22,000
	市単独土地改良補助金		24,912	25,000	25,000	22,000
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]		24,912	25,000	25,000	22,000
	人件費(正規職員)[B] (千円)		221,040	10,764	0	0
	平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)		240	90		
	事業量2(事業に要した人数)		30	4		
	年間経費([A]+[B])		245,952	35,764	25,000	22,000
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)		31.1	4.5	3.2	2.8	
受益者人数(280)1人当り経費(千円)		878.4	127.7	89.3	78.6	
経費に関する補足説明						

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	99.6	100.0	-	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 要望に対して予算額が不足である。							3
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	56.0	65.0	-	-	
	成果向上率	%	-	7.1	-	-	
(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 予算に対して有効に支出している。							4
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		千円	9.9	1.4	-	-	
	効率性増減率	%	-	85.5	-	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 国、県において農業団体の要望する、農業用施設整備等の土地改良事業の採択基準、補助率の見直しを願う。							4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 農村部においては農道、水路、ため池等の農業用施設は市道、河川等の公共施設の機能を補完しているので整備、維持管理の必要性は大いにある。						
							4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>				
	農村部においては農道、水路、ため池等の農業用施設は市道、河川等の公共施設の機能を補完しているので整備、維持管理の必要性は大いにある。						

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>市道、河川等の公共施設の機能を補完している農道、水路、ため池等の農業用施設の公共性を考慮すると、その整備、維持管理に対する支援は、今後とも必要であるが、手法を工夫するなどして経費節減に努める。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
中止・統廃合の影響		